

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 13週

集計期間 3/24-29

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症			1											1	
咽頭結膜熱					1	1		1						3	
溶連菌感染症					1	1		1		1				4	
感染性胃腸炎		1	5	3	6	3	7	7		2	3	12		49	
水痘			1				1	1	1					4	
手足口病															
伝染性紅斑															
突発性発疹		2	1											3	
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ															
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu		3	8	4	20	10	18	16	9	9	10	31	2	1	141
			小児科定点総数		205		増減	-54	前週比	79.2%	定点当たり	34.2			
								病院:開業医	5:200		増減	-7:-47			
内科Flu								1	1			3	3	19	27
								インフルエンザ総数	168	増減	-49	前週比	77.4%	定点当たり	18.7
								小児科:内科	141:27	増減	-42:-7				

総数205、前週の79.2%と、大幅減少です。

首位は、インフルエンザ、前週比77%、定点当たり23.5とやっと減少です。

2位は、感染性胃腸炎、前週比98%、定点当たり8.2と、不変です。

以下は、インフルエンザに抑圧されて、全て、定点当たり1以下で少数です。

溶連菌感染症は、4名になり、前週の11名から、半分以下です。

水痘4名、咽頭結膜熱3名が目立ちます。RSウイルス感染症は、1名報告です。

内科も含むインフルエンザ、前週比77.4%と減少、9定点中8定点から報告です。

小児科定点は、A型15、B型124、型報告無2で、A型が10.8%になりました。

内科定点では、A型4、B型23で、A型が14.8%となりました。

ようやく減少に転じましたが、数的には、3月の頭の第10週と同程度、

また、A型も増加に転じ、終息は遠い状況です。